

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・彫刻	単位数	4
		学科・学年・学級	普通科・創造表現コース 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い創造活動を通して創ることのよろこびを知り、意欲的に制作する態度を養う。 鑑賞する能力を身につけ、美術文化についての理解を深める。 感性を高めて美しさを探求する態度を養い、美術を愛好する心情を育てる。
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> 新 美術 表現と鑑賞(日本造形教育研究会／開隆堂出版株式会社) 本校作成プリント

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現することができる。	授業態度など	10%
b. 芸術的な感受や表現の工夫	多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	制作作品など	50%
c. 創造的な表現の技能	意図に応じて材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	美術の働きや美術作品の美しさ、特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうことができる。	観賞態度など	10%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	2	彫刻概論	彫刻全般についての理解を深める ・塑像と彫像の表現について学ぶ ・東洋彫刻と西洋彫刻の歴史について学ぶ	○			
	4~5	13	塑造Ⅰ(頭像)	水粘土を用いた自刻像制作(頭部) ・塑像制作の技法を学ぶ ・人体の構造について学ぶ ・水粘土の組成と保管、再生について学ぶ ・制作道具の使用(ヘラ・制作台等)について学ぶ ・心棒材料と制作(角材・しゆる縄等)について学ぶ ・塑造(粘土付け)について学ぶ	○	○	○	○
	5	13	塑造Ⅱ(模刻)	水粘土を用いた古代彫刻模刻(頭部) ・古代彫刻が持つ構造的性と彫刻性への理解を深める	○		○	○
	6~7	12	塑造Ⅲ(手)	水粘土を用いた手部制作 ・素材の理解を深める ・エスキースのとりかたを学ぶ ・手部の骨格・構造を学ぶ	○		○	○
	7~9	20	素描(石膏像)	鉛筆による素描(石膏像) ・石膏像の構造について学ぶ ・立体としての空間構成について学ぶ	○	○		
	9~10	28	塑造Ⅳ(頭像)	水粘土を用いた自刻像制作(頭部) ・人体の構造について学ぶ ・作品としての彫刻表現について学ぶ ・立体としての空間構成について学ぶ	○		○	○

後期	11 ~3	52 鑑賞	石膏取り 頭像(塑造Ⅳ)の石膏取り ・石膏について学ぶ ・切り金入れについて学ぶ ・石膏による雌型の制作について学ぶ ・粘土出しについて学ぶ ・石膏貼り込みと割り出しについて学ぶ		○	○	
【その他】							